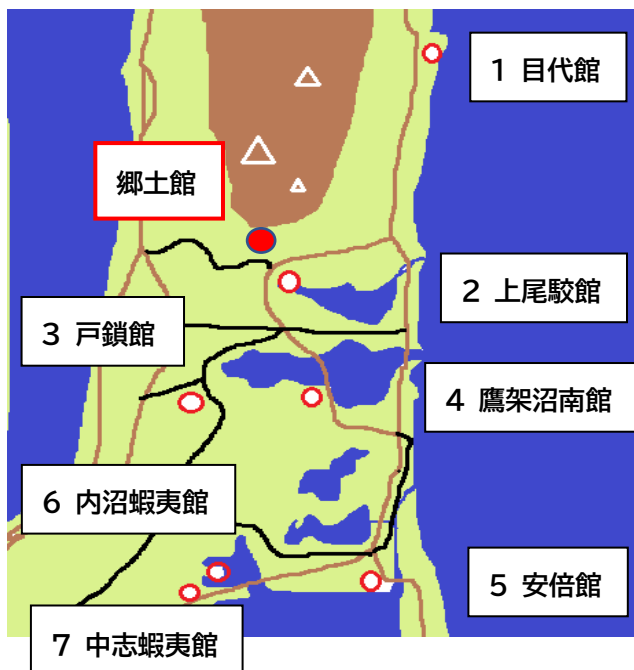


六ヶ所村の平安時代(防御性集落と尾駿の牧)

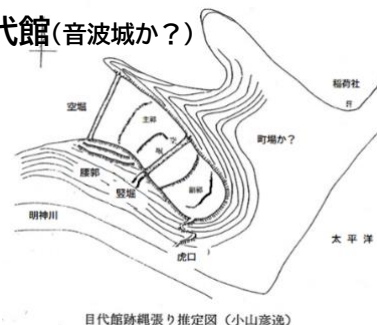
10世紀	11世紀	12世紀
平安時代 794年～1192年		鎌倉時代 1192年～
951年「後撰和歌集」でおぶちの駒が詠われる(六ヶ所村に尾駿の牧があったか?) 1051年～1062年 前九年の役(館八幡・安倍館か?) 1083年～1087年 後三年の役(後に奥州藤原氏が台頭する)		1184年 宇治川の戦い(七戸立産池月活躍) 1192年 源頼朝が征夷大將軍となる 1189年 南部光行が八戸に上陸
10世紀後半から11世紀にかけて、 防御性集落 が、形成される。堀で囲み隠れるように住んでいた。(3, 4, 6, 7番の館)		
←		→ 鎌倉時代になると防御性集落が消滅?

六ヶ所村にある7つの館



- 1 目代館: 豎堀があり中世の館か。蠣崎の乱の音波城か? 曲輪の畑から銅鏡が2枚出土。
- 2 上尾駿館: 丘の上の中心に「館八幡の祠」があった。安倍氏の居城か? 昔は「安倍八幡」
- 3 戸鎖館: 堀切の中と外側に住居跡が多数ある。避難所のような役割の館か?
- 4 鷹架沼南館: 湖に突き出た丘の上に、堀で囲んだ住居跡が多数ある。
- 5 安倍館: 南堀から人骨と刀剣が出土! 郭内に土師器の細片! 安倍貞任の館か?
- 6 内沼蝦夷館: まさに自然の要塞。県内の古い館の中でも、5本の指に入る重要な館。
- 7 中志蝦夷館: 北・東・南が湖に面している堅固な館! 小川原湖が一望できる!

目代館(音波城か?)



目代館跡縄張り推定図(小山彦造)



防御性集落の鷹架沼南館



安倍館